



青森県感染症発生情報 (2017年第50週)

I 第50週の発生動向 (2017/12/11~2017/12/17)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態ですので注意が必要です。
3. **手足口病**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に弘前保健所管内と上十三保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態ですので注意が必要です。
4. **流行性耳下腺炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。

II 第50週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	77	5.92	19	1.27	67	4.47	18	2.57	8	0.89	2	0.33	191	2.94	78
	RSウイルス感染症	6	0.75	4	0.44	7	0.70	12	2.40	1	0.17			30	0.71	-9
小児科	咽頭結膜熱	6	0.75	3	0.33	6	0.60	1	0.20	3	0.50	3	0.75	22	0.52	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	2.25	28	3.11	21	2.10	11	2.20	15	2.50	6	1.50	99	2.36	15
	感染性胃腸炎	45	5.63	24	2.67	48	4.80	21	4.20	5	0.83	10	2.50	153	3.64	-17
	水痘			10	1.11	12	1.20	4	0.80			4	1.00	30	0.71	11
	手足口病	15	1.88	30	3.33	15	1.50	2	0.40	20	3.33	1	0.25	83	1.98	28
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	11	1.10	1	0.20	2	0.33	1	0.25	20	0.48	6
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	5	0.63	3	0.33			5	1.00					13	0.31	5
	流行性耳下腺炎	1	0.13			13	1.30	2	0.40	14	2.33	1	0.25	31	0.74	3
眼科	急性出血性結膜炎					1	0.50							1	0.09	1
	流行性角結膜炎							1	1.00					1	0.09	-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							4	4.00			4	4.00	8	1.33	1
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

年末年始における海外の感染症予防

年末年始は海外へ渡航される方が多くなります。海外には、日本で発生していない、動物や蚊・マダニなどが媒介する病気がたくさんあります。渡航先で感染症にかからないようにするために、感染症の正しい知識と適切な予防方法を身につけ、出発前に渡航先の感染症の流行状況などに関する情報を入手することが重要です。[厚生労働省](#)や[検疫所](#)、[外務省](#)のホームページで最新の情報や注意事項を確認してください。また、予防接種が受けられる感染症については、渡航前に余裕をもって医師にワクチン接種の相談をしておくなど、適切な感染予防を心がけましょう。

海外で注意すべき感染症

主な感染源	蚊・マダニなど	動物	人	食べ物・水
注意すべき 感染症	マラリア※	鳥インフルエンザ	麻しん※	A型肝炎※
	デング熱	狂犬病※	風しん※	E型肝炎
	ジカウイルス感染症	MERS	ポリオ※	コレラ
	チクングニア熱			赤痢
	黄熱※			腸チフス
	ウエストナイル熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
ペスト				

注)※は予防接種が受けられる感染症(マラリアは予防薬)

感染症には、潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、帰国後しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その際は、早急に医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での職歴や活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [年末年始における海外での感染症予防について\(厚生労働省\)](#)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市6人、弘前2人、八戸市5人、五所川原1人（2017年計：289人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：上十三1人（2017年計：11人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2017年計：61人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。

- 下気道炎患者（咽頭ぬぐい液、12/4）・・・ヒトライノウイルスA：青森市1人
- 無菌性髄膜炎患者（髄液、11/24）・・・エコーウイルス6型：青森市1人
- 川崎病疑い患者（咽頭ぬぐい液、12/4）・・・ヒトライノウイルスA：弘前1人
- 薬剤過敏症候群患者（咽頭ぬぐい液、12/4）・・・アデノウイルス2型：弘前1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2017年第43週～2017年第50週）

- ・第50週の患者報告数は191人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは187人【A型：121人、B型：66人】でした。

保健所管内別報告数（人）

週	43	44	45	46	47	48	49	50
保健所名								
東地方+青森市	10	6	3	11	20	35	46	77
弘前		1	6	23	19	22	14	19
三戸地方+八戸市		2	3	5	4	8	29	67
五所川原					1	5	11	18
上十三		1	3		2	5	9	8
むつ							4	2
合計	10	10	15	39	46	75	113	191

A型（迅速診断キットによる型別）（人）

週	43	44	45	46	47	48	49	50
保健所名								
東地方+青森市	10	6	3	6	19	32	44	72
弘前		1	6	23	19	18	10	9
三戸地方+八戸市			2	3	1	4	13	16
五所川原					1	4	7	18
上十三			3		1	4	5	5
むつ							4	1
合計	10	7	14	32	41	62	83	121

B型（迅速診断キットによる型別）（人）

週	43	44	45	46	47	48	49	50
保健所名								
東地方+青森市							1	1
弘前						4	4	10
三戸地方+八戸市		2	1	2	3	4	16	51
五所川原						1	4	
上十三		1			1	1	4	3
むつ								1
合計	0	3	1	2	4	10	29	66

年齢区分別（人）

週	43	44	45	46	47	48	49	50
～5ヶ月								1
～11ヶ月			1	2			2	2
1歳	2			4	4	5	1	12
2歳				1	1	7	5	6
3歳				2	4	8	4	8
4歳				2	5	4	8	9
5歳			2	3	7	8	11	14
6歳		1		2	6	5	13	15
7歳		1	1	4	5	5	7	24
8歳	1	2	2	6		3	4	18
9歳	2	1	1	1		5	4	7
10～14歳	2	3	3	3	2	7	18	25
15～19歳	1			1	1	2	4	9
20～29歳		1		1		2	2	4
30～39歳			1	1	3	4	4	8
40～49歳	1			1	5	4	6	12
50～59歳		1	3	1		3	9	3
60～69歳			1	2	1		6	9
70～79歳	1			1	2		1	1
80歳以上				1		3	4	4

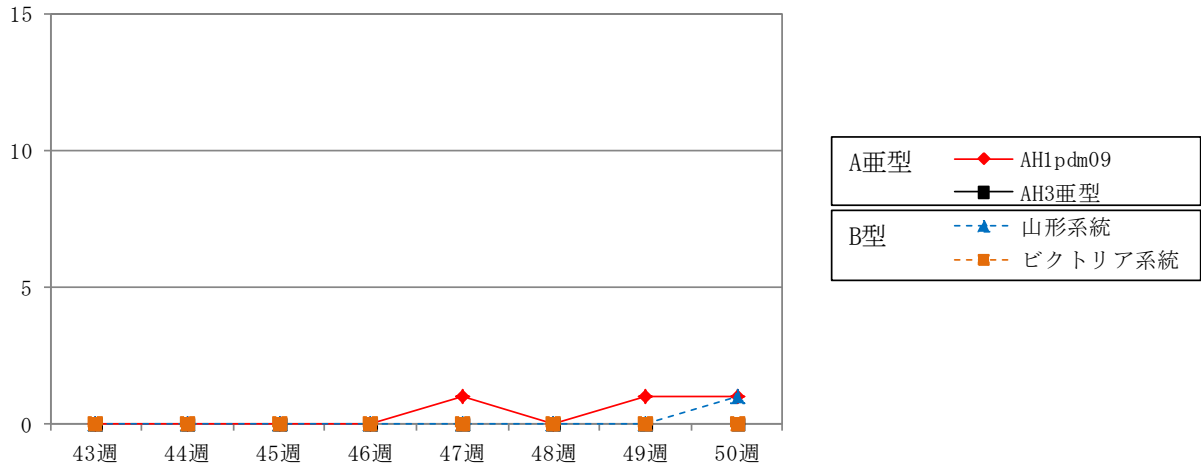
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2017								直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計
		43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		
提出検体数		0	0	0	0	4	0	1	4 (2)	9 (2)	10 (2)
検出 状況	A型	AH1pdm09				1		1	1	3	4
		AH3型								0	0
	B型	山形系統							1	1	1
		ビクトリア系統								0	0
合計		0	0	0	0	1	0	1	2	4	5

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



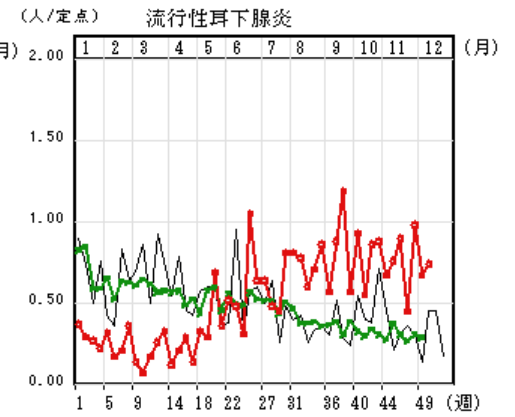
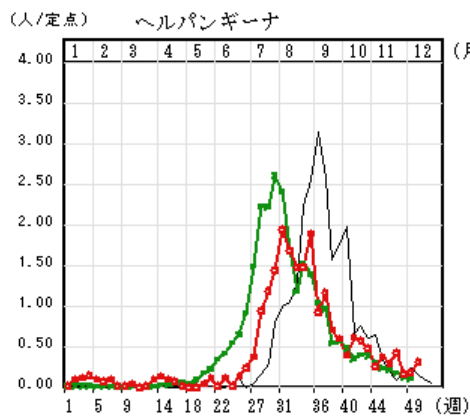
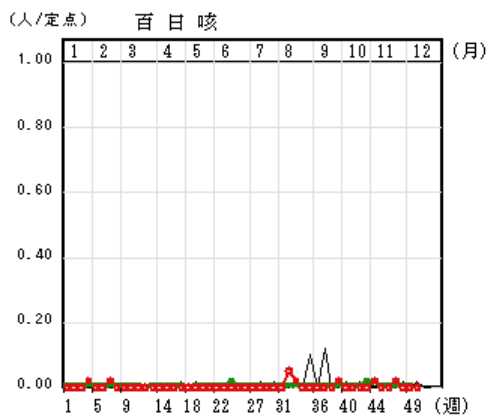
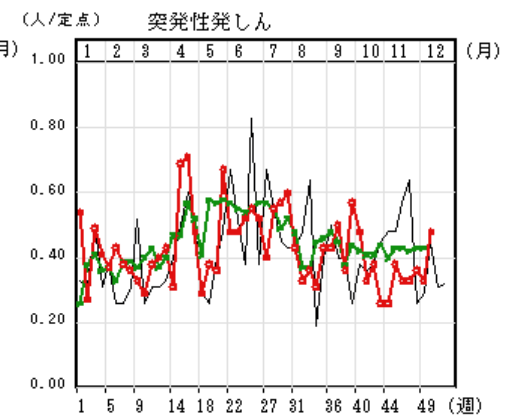
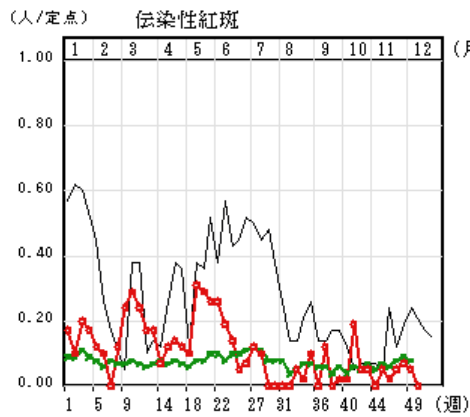
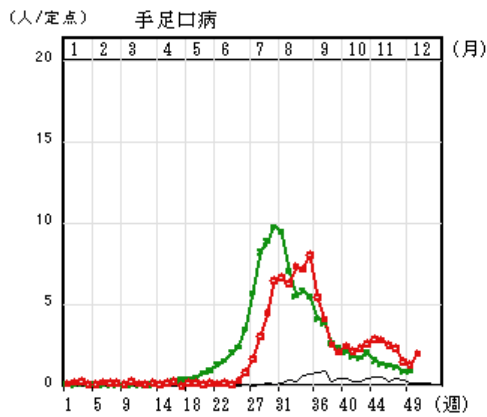
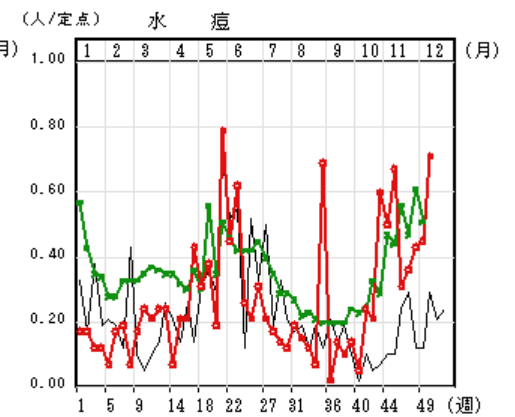
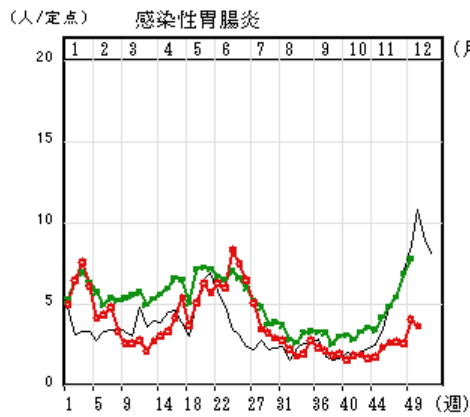
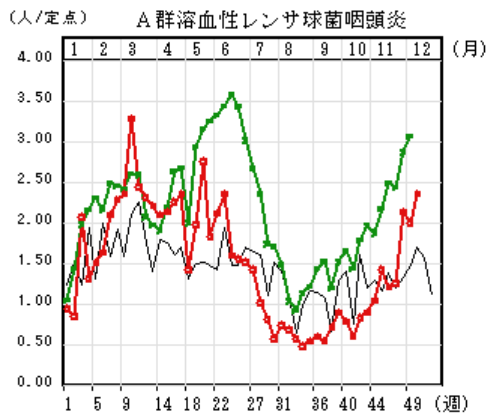
VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第47週～2017年第50週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	H29.11.20 ~ H29.11.26	アメーバ赤痢1人 侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人	梅毒1人				
48	H29.11.27 ~ H29.12.3						
49	H29.12.4 ~ H29.12.10	薬剤耐性アシネト パクター感染症1人		梅毒1人			
50	H29.12.11 ~ H29.12.17		梅毒1人			侵襲性肺炎球菌感 染症1人	

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2017年第47週～2017年第50週）

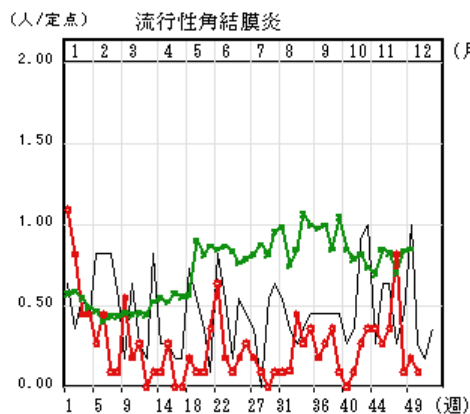
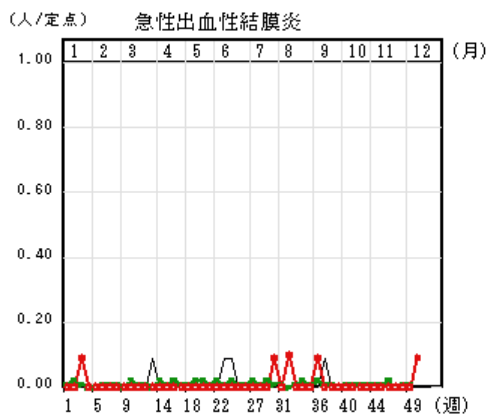
(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	H29.11.20 ~ H29.11.26	2		3			
48	H29.11.27 ~ H29.12.3		2	1	1		
49	H29.12.4 ~ H29.12.10	2	2	2	1		
50	H29.12.11 ~ H29.12.17	6	2	5	1		



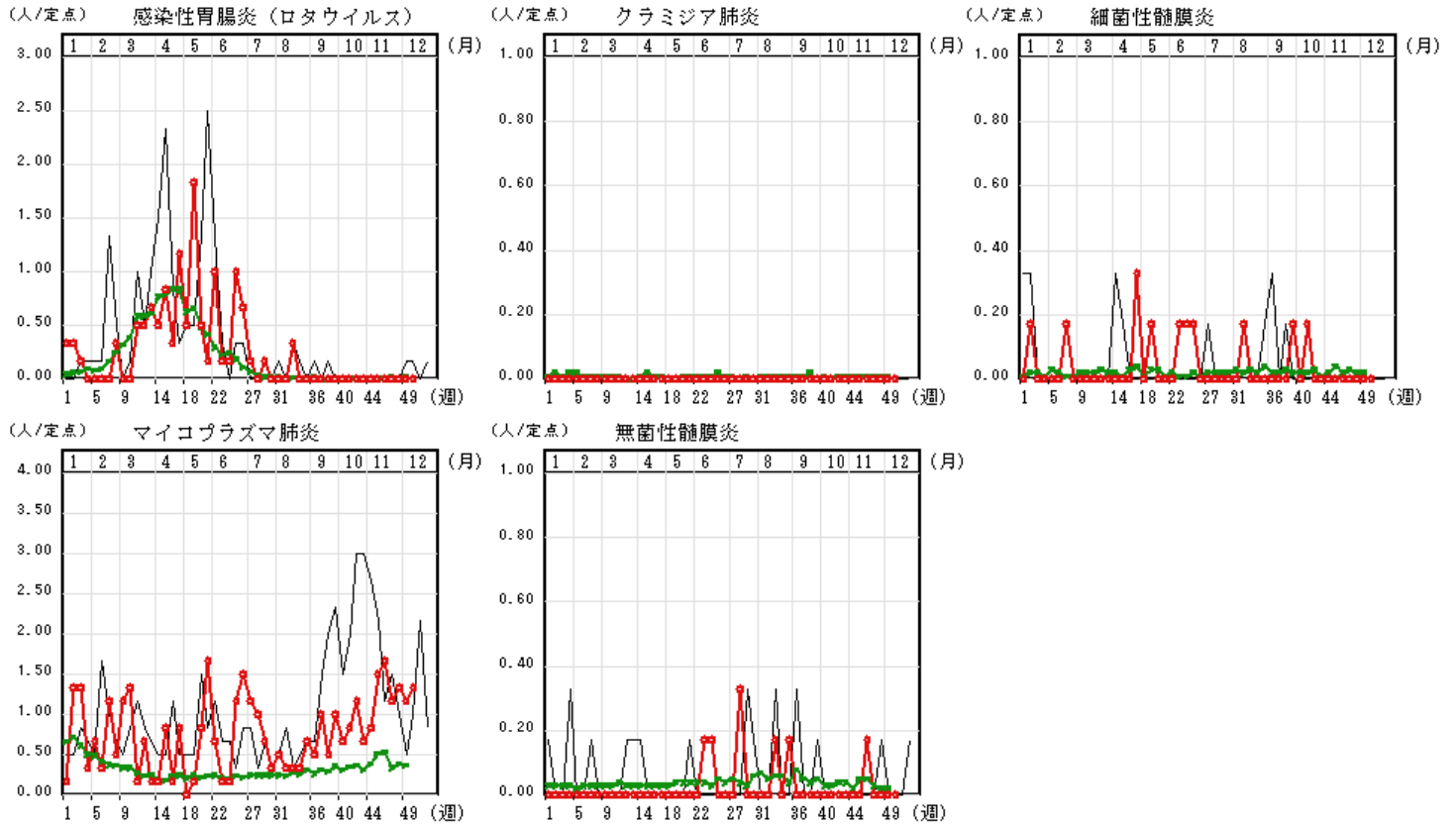
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第50週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第50週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第50週
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	12月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44-47週	48週	49週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	8
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	0	20	0	154
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	11
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	0	20	0	247